Innovation in Motion TSUBAKI

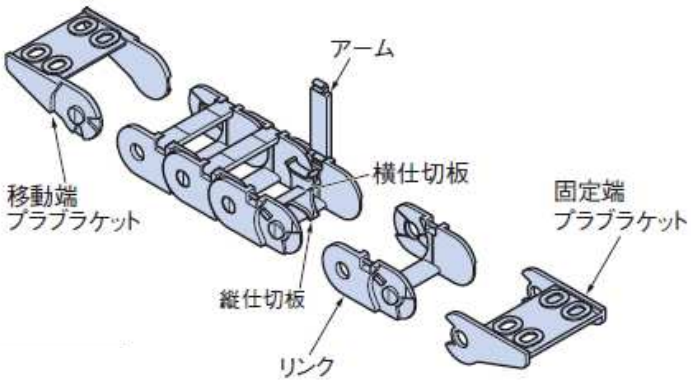
# つばき　取扱説明書

# ケーブルベヤ®

## TKP35H22
（旧 TKP0350）

（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

## 1 構造・名称




## 2 納入状態

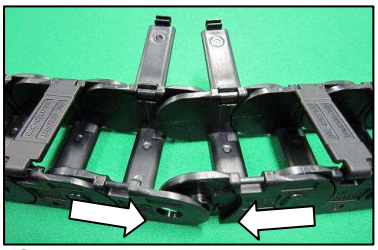
ケーブルベヤ本体が定尺長さ（下記リンク数）を超える場合は、分割して納入いたします。
また、移動端プラブラケット、固定端プラブラケット、（縦・横）仕切板は、通常、部品にて納入します。
【TKP35H22　定尺長さ（リンク数）：25 リンク】

## 3 連　結

※移動端プラブラケット、固定端プラブラケットのリンクとの取付けも同様の要領です

通常、納入時にはアームの片側は開いた（リンクとの結合が解除された）状態になっています。

①方向をそろえます。

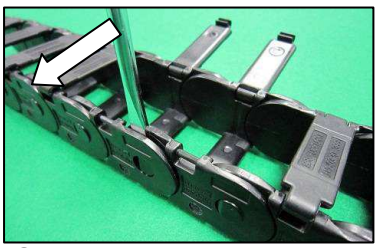

②リンク部を重ね、次に一方のピンを孔に挿入します。

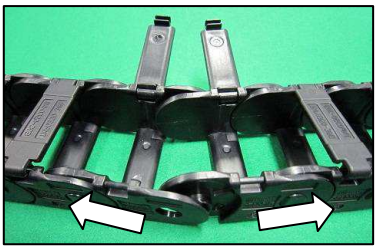
③他方も押し込み、ピンを孔に挿入し、連結します。

## 4 分　割

※移動端プラブラケット、固定端プラブラケットのリンクからの取外しも同様の要領です

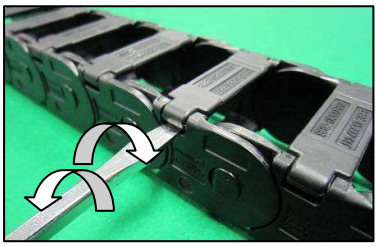
①分割位置の両側各 1 リンクのアームを開けてください。


②リンク間のスキマにマイナスドライバーを差込み、矢印の方向にこじてピンを孔から外します。


③他方のピンを支点にしてケーブルベヤ本体を「く」の字に曲げると外れ、分割されます。

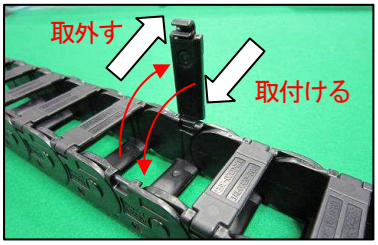
## 5 アームを開ける・閉める

1)アームを開ける



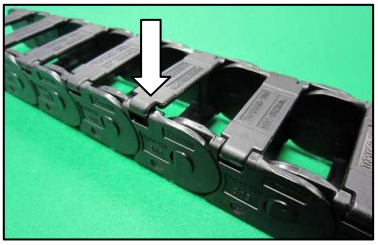
アーム端部とリンクの隙間にマイナスドライバー(先端幅 5mm 以下)を差込み、ドライバーを回転させてアームを開けます。

2)アームを取外す、取付ける




アームを 90 度起こした状態で矢印の方向の移動させることにより取外し・取付けできます。

3)アームを閉める



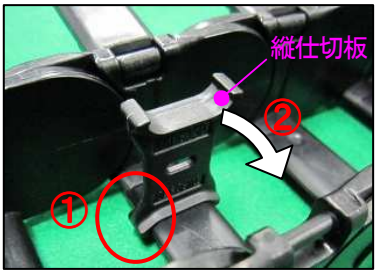
アーム端部を「カチッ」と音がするまで手で押さえるか、プラハンマーで軽くたたいてください。

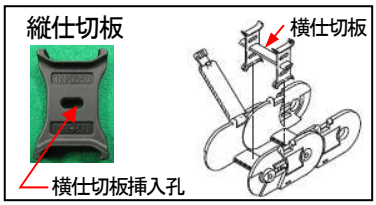
## 6 縦仕切板の取付け

縦仕切板はケーブル・ホース挿入時に取付けます。
アームを開けた状態で以下の手順で縦仕切板を取付けてください。

①縦仕切板の一方の係合部を、リンクに引っ掛けます。(右写真〇印)
②縦仕切板のもう一方の係合部を矢印の方向に押し込みます。

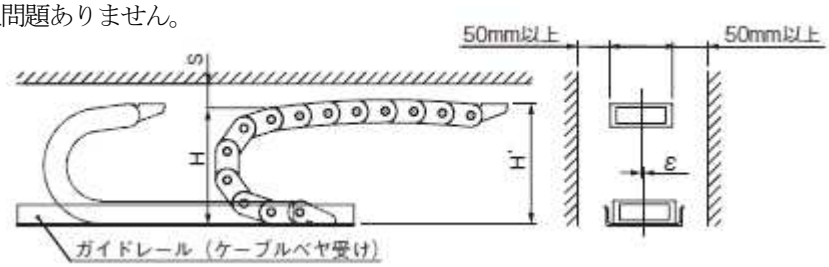
＊縦仕切板は上下対象形です。
＊横仕切板は縦仕切板の孔に挿入後、縦仕切板とともにリンクに取付けます。(注：縦仕切板は 2 個以上必要です)




## 7 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。




1．ケーブルベヤの設置高さ（H'） は、
　総高さ H+(10～30) mm　としてください。
2．余裕空間（S）は、100mm 以上　としてください。
3．ガイドレールを取付けてください。
4．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、4mm 以下にしてください。
5．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10．次の部品は部品送りといたしますので、取付時に組み込み願います。
　・(移動端・固定端) プラブラケット
　・縦仕切板　　・横仕切板

◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

| ボルトサイズ | 推奨締付トルク |
|---|---|
| M6 | 2.6 N･m |

2013 年 2 月 4 日発行 ©株式会社　椿本チエイン